

[前画面へ戻る](#)

科目名	アジアの歴史B
科目名(英訳)	History of Asia B
科目ナンバー	HH233C02
詳細情報	授業外学修時間: 週4時間
担当者 (非)は非常勤講師	一谷 和郎
単位数	2
開講学年	2年
開講セメスター	秋期毎週
対象学科 選択・必修	必修: 選択: HH
他学科受講	
履修順序・履修情報	
担当者及び時間割	
カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	歴史学分野テーマ科目。各時代・分野・地域の概要を理解するための基礎的な科目である。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ②:◎ ③-(1):○ ③-(2):○
身につく基礎力 / 身につく汎用力	傾聴・受信力 クリティカル思考力 / 専門的知識・技能 思考力 学び続ける能力

授業の主旨 (概要)	現代アジアの政治や社会は、近代に形成された歴史的な構造と関連づけて考えることができる。中国でいえば、中華人民共和国は、19世紀後半から20世紀前半までの、清朝末期ないし中華民国の時期に形成された政治や社会の構造と密接な関わりをもっている。したがって、現代中国のすがたを知るためには、過去の中国の歴史について理解を深めなければならない。受講生は本講義を通じて、中国を中心とするアジアの近代史に関する基本的な知識を獲得しながら、現代アジアを理解するためのヒントを見つけたることができる。	
具体的 達成目標	中国を中心とする東アジアの近現代史に関する基本的事実や思考方法を修得し、広くアジアの歴史に関する自分自身の解釈を表明することができる。	
	1	【内容】 第1回: イントロダクション 【授業外学習】 18～19世紀の中国の歴史について調べておく。下記の参考文献『新版5分野から読み解く現代中国』を利用する場合、3～8ページを読むとよい。
	2	【内容】 第2回: 帝国はなぜ滅んだのか① 【授業外学習】 18～19世紀の中国の歴史について調べておく。下記の参考文献を利用する場合、3～8ページを読むとよい。
	3	【内容】 第3回: 帝国はなぜ滅んだのか② 【授業外学習】 18～19世紀の中国の歴史について調べておく。下記の参考文献を利用する場合、3～8ページを読むとよい。
	4	【内容】 第4回: 革命—帝国から民国へ 【授業外学習】 辛亥革命について調べておく。下記の参考文献を利用する場合、3～11ページを読むとよい。
	5	【内容】 第5回: 反動—民主から独裁へ 【授業外学習】 袁世凱について調べておく。下記の参考文献を利用する場合、3～11ページを読むとよい。
	6	【内容】 第6回: 救国のイデオロギー—新文化運動 【授業外学習】 新文化運動について調べておく。下記の参考文献を利用する場合、3～11ページを読むとよい。

④ 授業計画	7	【内容】	第7回: 蒋介石の時代①—国民党の政治			
		【授業外学習】	蒋介石について調べておく。下記の参考文献を利用する場合、8～16ページを読むとよい。			
	8	【内容】	第8回: 蒋介石の時代②—国民党の政治			
		【授業外学習】	蒋介石について調べておく。下記の参考文献を利用する場合、8～16ページを読むとよい。			
	9	【内容】	第9回: 毛沢東の登場—共産主義運動			
		【授業外学習】	毛沢東について調べておく。下記の参考文献を利用する場合、8～17ページを読むとよい。			
	10	【内容】	第10回: 戦争と革命①—日中戦争			
		【授業外学習】	日中戦争について調べておく。下記の参考文献を利用する場合、17～19ページを読むとよい。			
	11	【内容】	第11回: 戦争と革命②—国共内戦			
		【授業外学習】	国共内戦と中華人民共和国の建国について調べておく。下記の参考文献を利用する場合、17～21ページを読むとよい。			
	12	【内容】	第12回: 現代中国の経済と社会			
		【授業外学習】	中華人民共和国の歴史について調べておく。下記の参考文献を利用する場合、第2章以下を読むとよい。			
	13	【内容】	第13回: 現代中国の政治と社会①			
		【授業外学習】	中華人民共和国の歴史について調べておく。下記の参考文献を利用する場合、第2章以下を読むとよい。			
	14	【内容】	第14回: 現代中国の政治と社会②			
		【授業外学習】	中華人民共和国の歴史について調べておく。下記の参考文献を利用する場合、第2章以下を読むとよい。			
15	【内容】	第15回: まとめ				
	【授業外学習】	授業で配布する「学習のポイント」にしたがって、文章を作成する。				
④ 授業方法	講義を基本とする。授業中に課される課題のフィードバックの仕方は、適宜授業を通じて伝える予定である。					
④ 成績の評価方法	提出物70%、まとめの課題30%で評価する。					
④ 成績の評価基準	提出物70%、まとめの課題30%で評価し、100点満点中60点以上を合格とする。					
④ 教科書						
④ 参考文献	No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN
	1.	『新版5分野から読み解く現代中国』	家近亮子, 唐亮, 松田康博	晃洋書房	2,700円	978-4-7710-2720-6
④ 備考						
④ 関連ホームページ						
④ メールアドレス	一谷 和郎 sza2779@fsc.chubu.ac.jp					
④ オフィスアワー						

[前画面へ戻る](#)